

マニュアル活用度調査分析 ご案内

マニュアルの現状はご存知ですか？

- ・ マニュアルが院内で、どの程度活用されているか
- ・ 利用者や管理者にはマニュアルにどのような期待値や意識があるのか
- ・ このままでマニュアルは大丈夫なのか

どのように行うのか

- ・ 職員へのアンケート方式の調査を行います
- ・ 調査母数は多いほうが現状把握の精度が上がります
- ・ 機能評価の前や1年毎に実施するのが効果的です

どのような報告があるのか（報告書例は裏面）

- ・ 部門、診療科、職位ごとに分析を行います。単位母数は10以上です。
- ・ 活用度の総合評価
- ・ 5領域ごとにわけた、分析レーダーチャート
- ・ コンサルタントによる、活用度の診断
- ・ コンサルタントによる、改善の処方

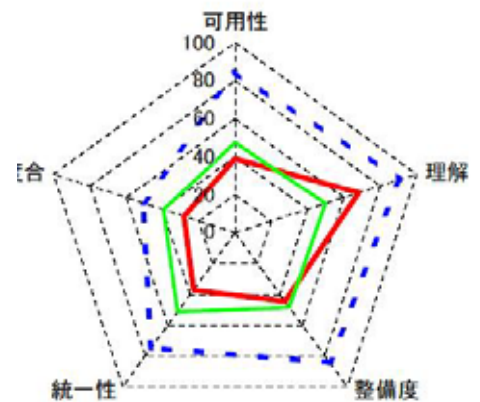
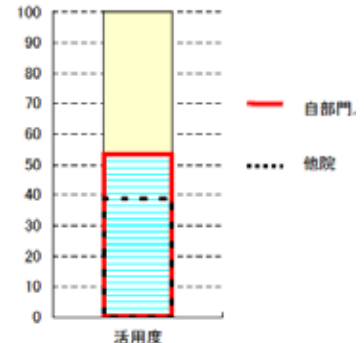
コストや期間（1回/年程度の実施をお勧めします）

- ・ 400床未満の病院は 1回目 30万円（税、交通費別）
- ・ 400床以上は100床ごとに 10万円（税、交通費別）
- ・ 調査分析2回目以降 7.5万円（税、交通費別）
- ・ 期間 アンケート調査期間 3週間程度（360床での実績）
分析、報告書作成期間 2週間程度（360床での実績）

利用者の声

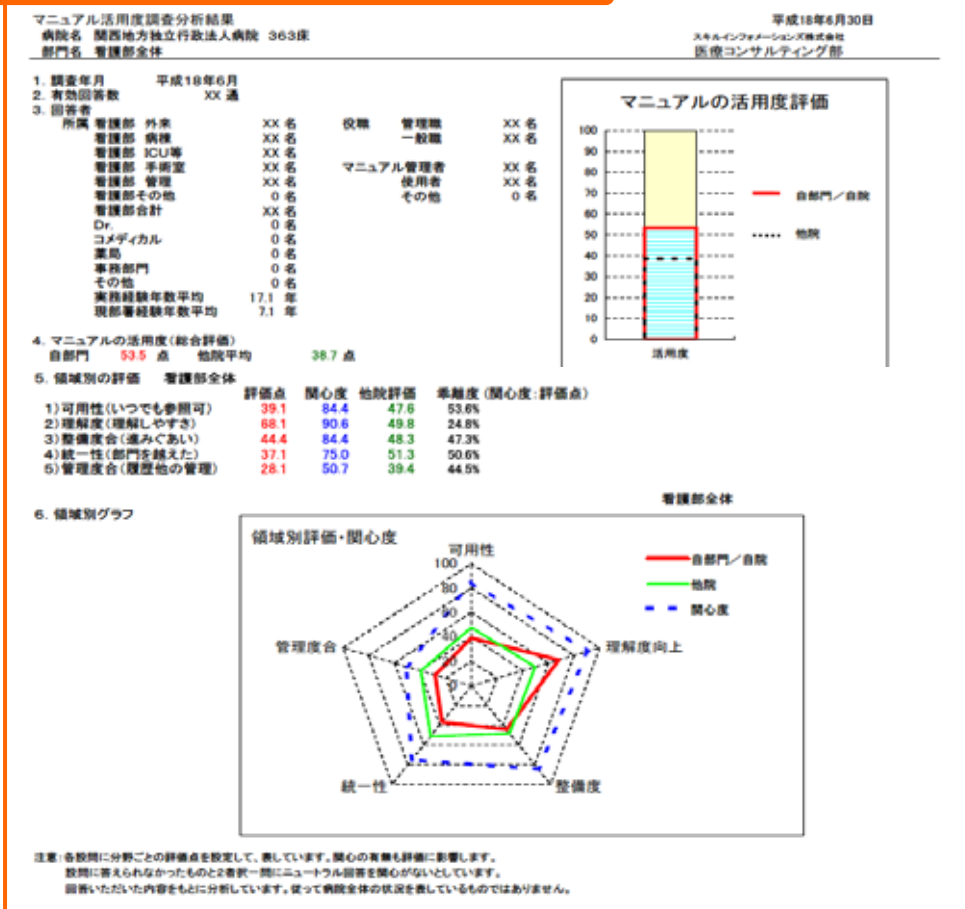
- ・ Bセンター（管理者）頑張ってきたところは評価された。今後、改善に向けて力を入れて行くところが良くわかった
- ・ M病院（部長）マニュアル改定を予定している。結果が出るまで少し怖かったが、これで機能評価を安心して受けられます。
- ・ S病院（副部長）管理者の期待値と利用者の期待値の差がはっきり出た。今後はみんなの期待に応えられるように変えてゆく。
- ・ H病院（リスクマネージャ）リスク対策のマニュアル化は急務だが、受け皿となるための信頼性などの第三者の目から見た確証が欲しかった。

マニュアルの活用度評価



マニュアル活用度調査分析 報告例

分析結果報告書例



詳細分析報告(コンサルタントコメント)

「マニュアル活用度」調査分析結果報告

添付 分析結果データシート(看護部全体、マニュアル使用者、マニュアル管理者)

1. 分析結果

部門間にバラツキがあるものの、看護部においてはマニュアルの整備ができており、教育や研修にも使える品質になっている。マニュアルを知識や技術の習得に使いたいが、情報が古かったり更新されてもそれが周知されない状況にあることと、いつでも手軽に参照できる状況ではなく、せっかく良いマニュアルを作っても十分に活用されていない状況と思われる。

手順書としての完成度は高いが、医療安全や接遇を形式知に落とし理解させるところはまだ不十分である。また、業務フローに沿ったマニュアル構成や統一された院内全体のマニュアル参照は今後の改善領域である。使用者はマニュアルを読んで理解しても上司から評価されないと考えているものは居ないが、管理者は客観的に理解度を測れないためか、評価すると答えたものは居なかった。履歴管理や権限規定が不十分で、機能評価等に耐えうる管理状態に向上させるためのしくみが必要と思われる。

2. 回答者の意識

お問い合わせ先



ホームページ www.sic-net.co.jp

電話 0120-06-4199

電子メール mc-info@sic-net.co.jp

担当: 医療コンサルティング部